

東洋ステンレス 研磨工業 株式会社



代表取締役社長
門谷 誠

超繊細ステンレス意匠 研磨技術

福岡県
太宰府市水城6-31-1

1966年(昭和41年)設立
TEL 092-928-3733

<http://www.toyo-kenma.co.jp/>

ステンレス、アルミ、チタン等の金属表面の意匠研磨技術で世界有数の技術を有し、米ディズニーの大型建造物外壁パネル等において、世界的評価を獲得。

世界有数の研磨技術

ステンレス、アルミ、チタン等を0.001mm単位の表面研磨制御で加工する。加工前の素材から、製品までの表面処理を一貫してこなせる技術、設備、品質保証能力を有する、世界でも3指に数えられる企業である。

多彩な表面処理技術

超繊細意匠研磨仕上げや建築材料等に使用されるショットブラスト処理において自由度の高い、イメージを表現できる表面状態を作り出すことが可能で、その技術は国内高炉メーカーや意匠部品メーカー、真空装置メーカー等から非常に高い評価を得ている。

また、その大型研磨技術は10㎡(1550mm×6500mm)を同じ色合い、風合いの安定した表面に仕上げることが可能であり、10,000㎡以上の大面積で機能性・意匠性を付加した高耐食性鋼板を製造できるオンリーワン企業である。

世界のディズニーへ

2003年、米国ロサンゼルスに建てられた「ディズニーコンサートホール」。この建物は銀色のステンレススチールに囲まれており、同社はこの外壁部分の表面処理加工を担当し、この技術で「帆船の白い帆が波を打つ感じ」を表現した。現在、米国ニューヨークに建設中の76階建て超高層ピークマンタワーの外壁を生産中である。



意匠研磨(ガラスピース
ブラスト処理)



米LAのディズニー・コンサー
トホールのステンレス外壁



米NYに建設中のピークマンタワー(中央)
の完成予想図